

平成 26 年 11 月 7 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 27 年 3 月期第 2 四半期（4-9 月）決算について

預貸金、貸出先数とも好調を維持、中間純利益は過去最高益を更新

平成 27 年 3 月期第 2 四半期単体決算は、本業の収益力を示すコア業務純益、経常利益は減益となるも中間純利益は過去最高益を更新しました。

【単体決算概要】

(単位：百万円)

	平成 27 年 3 月期 第 2 四半期	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比
資金利益	15,251	15,354	△102
預貸金収支	11,143	11,155	△12
有価証券利息配当金	4,056	4,143	△86
コア業務純益	5,161	5,531	△369
経常利益	5,063	6,347	△1,283
中間純利益	6,413	3,866	2,547

1. 預貸金について

預金は、前年同期比 394 億円増加の 1 兆 8,106 億円、貸出金は、同 220 億円増加の 1 兆 3,109 億円となり、預金・貸出金とも好調に増加しています。

また、新規事業所開拓が順調で事業性貸出先数は前年同期比 863 先増加し、13,107 先に達しました。

2. コア業務純益について

資金利益は、ほぼ前年並となりましたが、抑制していた機械化関連投資等による経費の増加もあり、本業の収益力を示すコア業務純益は前年同期比 369 百万円減少の 5,161 百万円となりました。

3. 経常利益及び中間純利益について

経常利益は償却債権取立益の減少により 5,063 百万円となりましたが、中間純利益は子会社である東和フェニックス株式会社の解散決議に伴う繰延税金資産の計上もあり 6,413 百万円と過去最高益となりました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、単体 10.73%、連結 11.03%となりました。

以 上